

	A	B	C	D	
1				<様式11-1>	
2		令和5(2023)年度		学童クラブ事業年間活動報告書	
3				清水児童館	
4	生活援助機能	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題	
5					
6			子どもの状況等の把握	職員を各室に配置、また各職員の持ち場だけでなく、連携を心掛け全体的な状況把握に努めた。	
7			安全と衛生及び健康管理	コロナ5類化によりマスク着用はほぼなくなったが、空気清浄機を購入し換気の悪い場所に置くなどした。	
8		安全・衛生の確保	遊びの指導と声かけ	外遊びが建物の屋上になるため、夏期は熱中症の危険があり使用できない。夏休みは隣接の庁舎内にある体育館を借り、運動遊びの環境を整えた。また自然に触れる機会が少ないため、土曜日などに近隣の公園に遊びに行き、体験の拡大を試みた。	
9			おやつ提供	感染予防を前提におやつ時は黙食、机は一人一台とした。また食べたことがないために拒否することも多いが、アレルギーのあるものでなければ少しだけ食べてみようとして声掛けをしている。	
10			習慣づくりの指導と援助	今年度から1年生は帰りが早くなった。6年生までの登録がある中、放課後の時間が短いことは変わりなく、全体で動く設定は少なくし、自身でどのように時間を配分するか考えられるようにしている。館内では落ち着かない子も居る中、図書館が寛大に見守ってくたさるので、図書館の利用も増えた。	
11			(時間の管理・学習時間の設定・朝の会)		
12			日々の生活における様々な個別対応	介助対象児童が多い中、一人ずつ記録を付け、職員数が足りないときは連携しながら見守りをした。子ども達の間で助け合う関係も構築されてきている。日々の見守りの中で子どもの様子を昼れで共有し、一人ひとりに必要な対応を考え実施した。	
13		健康の管理・情緒の安定	手洗い・うがい・消毒の慣行	毎日声掛け、慣行しない子どもには必要性を伝え続けた。おおむねできている。	
14			ハンカチ・ティッシュの携帯指導	保護者に周知しているが持参しない児童が多い。引き続き声掛けをし必要性を伝えていく。	
15			挨拶の慣行	登館時・下館時に職員が対応、定着してきている。	
16			基本的な生活習慣の確立	学校指定の持ち物が多く、また制服・制帽があるため他児の物と混同しやすい、自分の物はしっかりロッカーに入れるよう声掛け、遊びの切り替わり時に職員から服装や使わない物について声掛けをした。おもちゃは保育スペースの全体把握をする職員から都度声掛けをし、こまめに片付けるよう指導した。	
17					
18		子ども育成機能		お誕生日やデー	ひとりひとりの好きなおやつを誕生日に出した。パスデーカードはその子のために写真を撮り、お祝した。
19				入会式	当日の司会を子ども達から募集し、その中で役割分担をして臨んだ。子ども達中心の子ども達のための式として展開。子ども達の遊びの発表はやりたい子どもが多く、新入生にとっては少し長かった。保護者の方は「こんな風にできるように頑張っていきなれな」と喜んでくださった。
20			生活体験の拡大	観劇「はれの日のあめ」	制作物をこまめに作り準備をした。休みの間に自主的に家で作ったものを持参する子もおり、意欲を感じられた。
21				観劇「はれの日のあめ」	東山青少年センターより招待があり観劇。暗転中怖がることもあったが穏やかに観劇できた。
22			縁日話し合い	内容について職員から大枠を伝え、子ども達から案を出した。穏やかに話し合い、譲り合うことのできるメンバーで、拗れることなくスムーズに進んだ。	
23			学童縁日	それぞれ役割を持った実行委員が自主的に動き、魚釣り、輪投げ、ヨーヨー釣り、おやつビンゴを楽しんだ。	
24			体育館遊び	いつものテラス遊びよりもはるかにスペースが広くなり、同じ遊びでも全く違う体験になった。区切りのネットで滑ってける、片付けのモップ掃除で怪我が出るなど、慣れない場所でのトラブルが多かったため、対策が必要。	
25			公園遊び	生き物が好きな子どものために土曜日昼から館を出て公園へ遊びに行った。館内ではできない体験があり、また公園に来ていた友達も一緒に遊べるので、子ども達は喜んでた。	
26	社会性の養成		大学生にお手紙を書こう	令和4年度からボランティアとして来てくれていた大学生2人が、令和5年度3月に大学を卒業し就職するので活動が終了になる。丁寧に開封見守ってくれた大学生に、子ども達がそれぞれ手紙を書いた。文章を書くのが苦手な子は絵を描いた。活動終了の日にお別れ会をし、子ども達から手紙と花束を渡した。	
27			修了式	子ども達の今年一年を振り返り、一人ずつ職員からのメッセージと写真の貼ったカードを渡す。写真をお互いに見せ合ったりして喜ぶ姿が見られた。	
28			お買い物おやつ	年度末の土曜日に、その日いるメンバーで「今日はどうなおやつが食べたいか」と聞き、1人ずつ希望を言い、「これはみんなで分けられる」「これは一人ずつ好みが違うから個別にする」など取り決め、近所のハッピー六原に買い出し。年長の5年生が積極的に動き、買い出しの荷持ち等してくれた。	
29					
30	子育て支援機能		お弁当いらんデー	保護者から最も要望が多いため、回数を増やした。学校再開の給食の無い日、春休みなどが主。内容は数種類の中から一人一人が選ぶ。今回初めて注文する店も複数あり、子ども達も楽しみにしていた。	
31			ケース検討会	連盟岡崎先生と潮田先生と田川教授に介助対象児童の館での様子を見てもらい、学校の担任も招いて各児童の現状、支援内容を確認。学校との連携強化にも繋がった。	
32			保護者相談	介助対象児童の保護者を対象に、岡崎先生と個別で懇談。成育歴、親からの見立て、職員からの見立てを統合し結果を確認。今後の支援をどのように行っていくのか、より細密なやり取りができた。	
33		子育てに必要な情報の提供と交換	入会説明会(学童クラブ入会のご案内)	新入会家庭を対象に実施、一堂に顔合わせ、清水児童館での保育を具体的に伝えられた。また継続登録される家庭においても利用の手引きとして配付した。	
34			要保護児童対策地域協議会	館長が参加、虐待を疑われる家庭の児童について情報の共有。虐待認定はされていないが、過去に通報が数回挙がっていること等、保護者との間では確認できなかったことが確認でき、はぐくみ室、学校との連携を深められた。	
35			個人懇談	6月、11月と実施。子ども達の成長を伝え、保護者の思いをうかがい、日々の保育内容に活かすことができた。	
36			小学校との連携	お便りを持参、学校の予定などの確認。介助対象児童の担任と個別で話し合い、放課後、夏休みの様子を、見に来られた。	
37		子育ての仲間づくり	専門機関との連携	登録児童の通っていた園や支援を受けている専門機関と連携し、改めて子どもの現状、様子を捉えなおすことができた。	
38			なかよし発行	お便りを通して表面では月ごとの予定を伝え、裏面では子ども達の日々の様子を伝えた。保育の様子を写真付きの壁面を作り、関心を持って見てもらえるように展開した。	
39					

令和5(2023)年学童クラブ事業年間活動報告書

清水児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
生活援助機能																
登下館時の安全指導	293															1年生を中心に登下館の安全について指導する 手洗い、うがい、消毒の習慣を定着させる 衛生管理の為ハンカチ、ティッシュを各自持参する 挨拶の習慣をつける 自分の身の周りの片づけや整理整頓の指導を行う 各室に職員を配置し子どもの状況管理を徹底する 感染症対策や安全管理を徹底する 適切な遊びの提供や指導を行う 毎日の補食としてのおやつを提供を行う 宿題の場所の提供や声掛けをし、習慣作りを行う
手洗い・うがい・消毒の慣行	293															
ハンカチ・ティッシュの携帯指導	293															
挨拶の慣行	293															
片付け・整理整頓指導	293															
子どもの状況等の把握	293															
安全と衛生及び健康管理	293															
遊びの指導と声かけ	293															
おやつ提供	293															
習慣づくりの指導と援助	293															
(時間の管理・学習時間の設定・朝の会) 日々の生活における様々な個別対応	293															
子ども育成機能																
お誕生日やデー	38	289	299	308	95	119	7							919	お誕生日のお祝いをし、その児童のリクエストしたおやつを食べる 新入会の児童のお祝いをする 4 学童緑日直準備・打合せ 15 東山青少年活動センターから観劇のご招待があり参加する。 21 学童緑日内容の話し合い、制作等 32 夏休み最終日に子どもが提案し準備をしたコーナー遊びを展開 113 体育館を借りて運動遊びをする 10 近所の公園に遊びに行く 9 学習ボランティア、介助ボランティアを担っていた大学生にお別れの手紙を書く 39 学童クラブの修了をみんなで祝う 7 子ども達と職員で当日のおやつを買いに行く	
入会式	1	8	9	7	5	4	1									
緑日準備	1			3	1											
観劇「はれの日のあめ」	1	3	4	5	2	1										
緑日話し合い	3	1		16	2	2										
学童緑日	1	6	11	10	2	3										
体育館遊び	5	26	30	26	10	13										
公園遊び	1	3	1	2	2					3				2		
大学生にお手紙を書こう	1															
修了式	1	11	10	11	2	3				1			1			
お買い物おやつ	1	2	1	2	2											
子育て支援機能																
個人懇談	32													59	59 保護者と児童の情報共有をする 182 館で昼食を発注し保護者の負担を減らす 7 連盟主催のケース検討会 7 連盟岡崎主任と保護者相談 8 学童クラブ入会に際しての説明会 9 支援の必要な家庭について学校、東山はぐくみ室を交えて懇談 毎月学童クラブのお便りを発行する 小学校とおたよりのやりとりや情報交換をする 保育園なども新入会児童の情報交換をする	
お弁当いらんデー	5	42	57	52	12	14	5									
ケース検討会	1															
保護者相談	5												7			
入会説明会	1												8			
要保護児童対策地域協議会	1												9			
なかよし発行	12															
小学校との連携	8															
専門機関との連携	5															

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること

ファイル名 最終更新日時

2024_05_21 #####

2024_05_21 #####

2024_05_21 #####

2024_05_21 #####